

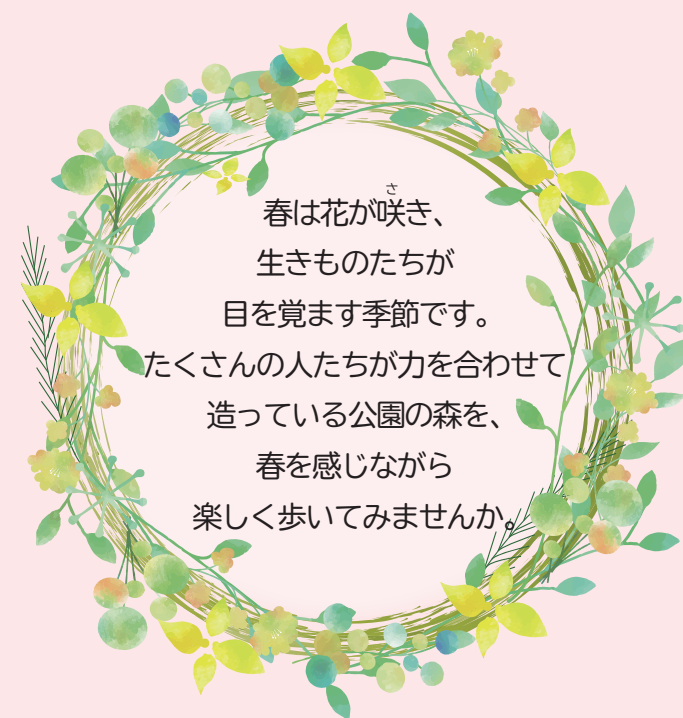
おすすめの森はこちら



こもれびの丘
公園の北側にある
森です。武蔵野の
むさしの
ぞうきばやし
雑木林の復元を目
指し、たくさんの
人たちが協力して
管理しています。

【MEMO】

春の森歩き お楽しみガイド



公園のきまり

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないように
しましょう。
- ・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。

春の森歩きマップ

① シュンラン

花に蜜や香りはありませんが、フェロモンのような物質でニホンミツバチを誘うといわれています。ハチが蜜をさがしに花の奥まで入り、出て来るときに、ハチの背に花粉塊がくっつく仕組みになっています。



② イカリソウ

花の左右に細くの伸びた距の奥の方に蜜があり、マルハナバチ類がストロー状の口を伸ばして取ろうとします。花の内部に入ったマルハナバチ類の体に花粉がついて、隣の花へ運ばれていきます。



きよ
距
この中に蜜が入っています。



③ ウグイスカグラ



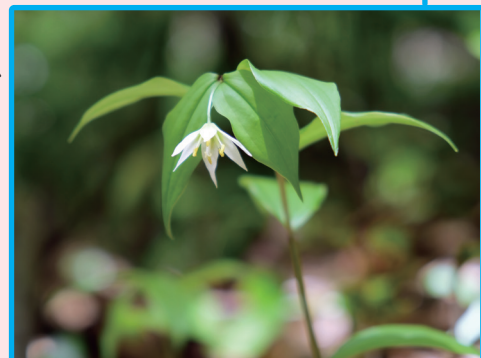
低木で、濃いピンク色の花がついています。ウグイスがさえずり始める頃に咲くので、この名がつけました。ウグイスカグラへ専門的に訪花するコガタホオナガハナバチというハチがいます。

この種はウグイスカグラがある地域にしか生息していません。
※コガタホオナガハナバチは、昭和記念公園ではまだ見つかっていません。



④ チゴユリ

うつむいたように白い花がついています。下向きの花で、ハナバチ類を誘っています。茎の基部から数本の地下茎を伸ばし、先端に翌年の芽をつけることもできます。ですので、こもれびの丘の園路沿いにも点々と咲いています。



出典：『自然史双書 3 日本のイカリソウ一起源と種分化』鈴木和雄著、八坂書房、1990年
『花生態学入門 花に秘められた謎を解くために』田中肇著、農村文化社、1993年
『花と昆虫、不思議なだましあい発見記』田中肇著、講談社、2001年
『里山の植物ハンドブック 身近な野草と樹木』NHK出版編、多田多恵子監修、NHK 書房、2009年
『国営昭和記念公園オリジナル植物ガイドブック 花ごよみ』一般財団法人 公園財団、2009年